

# グライダーで大空へ

角田市の総合型地域スポーツクラブ「スポーツコミュニケーション・かくだ」(スポコム・かくだ)は本年度、小中学生を対象にしたグライダー教室を始めた。

スポコムはサッカーやバスケットボールのほか、親子キャッチボール、チアリーダーなどのユニークな子ども向け教室を市総合体育館周辺で原則、隔週土曜に開いている。角田市の阿武隈川左岸にグライダー専用の滑空場があり、愛好者が活動していることにスポコムが着目。教室の新たなメニューに加え、年4回開催する。

技術指導や練習に使う子ども用グライダーの提供は、県航空協会や東北大航空部、グライダーによる地域おこしに取り組む市民団体「スカイネット角田」

## 角田の総合型スポーツクラブ

### 子ども向け教室始める

が協力した。

初回の教室は4日に行われ、県南の小学生8人が参加。座学形式でグライダーが飛ぶ仕組みを学んだ。次回7月以降、操作方法を学んだり地上滑走したりして、最終回の10月、体験飛行に挑戦する。

アイリスオーヤマ、仙台大といった強豪スポーツ部の指導による全7回のポート教室も、前年度に続き開かれている。小中学生は年会費2000円でいずれの教室にも参加可能で、随時受け付けている。草間進会長は、総合型地域スポーツクラブとしては珍しい試み。多くの子どもたちに参加してほしいと話している。連絡先はスポコム・かくだ(市総合体育館内) 0224(63)3771。